



**No.44** 2024-6 発行

## 睡眠時無呼吸症(いびき)に対する舌下神経電気刺激装置植込術

耳鼻咽喉科 (講師) 酒井 あや

### 【睡眠時無呼吸症について】

いびきや睡眠時無呼吸の原因として、上気道（鼻や口腔から気管の入口まで）が狭い、もしくは閉塞している状態です。症状は、習慣性いびき、睡眠時無呼吸、窒息感、熟睡感の欠如、日中の眠気を認めます。適切に治療がなされない場合、高血圧、気分障害、認知機能障害、冠動脈疾患、脳血管障害、うっ血性心不全、糖尿病などのリスクが上がると言われています。そのため、適切に治療することが大切です。

治療は、保存治療と手術に区別されます。保存治療では、軽症の場合、マウスピース、体勢を変える（側臥位睡眠）、睡眠指導などがあります。重症ではCPAP（持続陽圧呼吸療法）があります。睡眠時に鼻にマスクを着用し、専用の装置で鼻から気道へと圧力をかけた空気を送り込むことにより上気道を広げ、寝ている間に気道が塞がってしまうことを防ぎ、睡眠時も呼吸が維持されるようにする方法です。

手術の場合、上気道が閉塞している原因となっている部分を明確にします。従来の手術では、鼻副鼻腔手術、咽頭手術があります。近年、欧米では一般化しつつある手術が、舌下神経電気刺激装置植込術です。



CPAP（持続陽圧呼吸療法）

(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital



金	沢	医	科	大	学	病	院
地	域	医	療	連	携	だ	よ
						り	

## No.44 2024-6 発行

### 【舌下神経電気刺激装置植込術について】

2021年に日本でも保険収載がなされ、施行可能となりました。本治療は、CPAPが継続できない方の新たな選択肢の一つであり、適応基準を満たす方が対象です。

全身麻酔による手術であり、鎖骨下に埋め込んだパルスジェネレータが、睡眠中の呼吸に同期して微弱な電気の刺激で顎下にある舌下神経を刺激することで、効果を発揮します。舌下神経は舌を動かす神経で、舌を前に出すことで咽頭が拡大し、無呼吸を改善させます。就寝前に外部コントローラーを使用し、スイッチをオンにすると装置が作動します。本治療により、長期的に睡眠中のいびきや無呼吸の軽減、主観的な眠気が改善すると報告されています。

適応基準は、無呼吸低呼吸指数が20回/時間以上、CPAPが使用できない、18歳以上、肥満指数(BMI)が30kg/m<sup>2</sup>未満、扁桃肥大などの重度の解剖学的異常がない、薬物睡眠下内視鏡検査で軟口蓋の同心性虚脱がない、中枢性無呼吸の割合が25%以下となります。当院で適応を判断し、基準を満たせば治療を行います。費用については、2021年6月1日から、舌下神経電気刺激装置植込術は28030点、在宅舌下神経電気刺激療法指導管理料は810点が保険適用になりました。実際には、病院での入院基本料などが加算されます。

本治療は、手術を行うための頭頸部の専門的な外科的手技や、研修の修了が必要です。さらに、術後の管理体制が整った認定施設でのみ受けることができます。当院はこれらの基準を満たしており、北陸では唯一の施設です。

このように睡眠時無呼吸症の治療はいくつかありますが、重症でありながら、CPAPを使用できない場合は、内科疾患の合併症の確率も上がるため、舌下神経電気刺激装置植込術を行うこともございますので、ご相談ください。



舌下神経電気刺激装置植込術

#### 相談先

耳鼻咽喉科外来 担当医：酒井 あや

TEL076-286-3511(内線27250)

	月	火	水	木	金	土
午前	×	○	○	○	×	×
午後	×	○	×	○	×	×

令和6年6月現在

(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital